

福祉なかだ

〔第14号〕

発行日 平成23年4月20日
 発行 中田地区社会福祉協議会
 (略称・中田地区社協)
 広報委員会
 発行責任者 飯島 猛旦
 電話 045(802)4025

平成22年度 賛助会費集計

ご協力ありがとうございました

自治会・町内会名	加入世帯数	目標金額(円)	実績金額(円)
1 朝日台自治会	70世帯	5,000	5,000
2 池谷自治会	480世帯	36,000	42,000
3 春日自治会	308世帯	23,000	42,400
4 葛野町内会	206世帯	15,000	10,000
5 葛野東町内会	61世帯	4,000	5,000
6 白百合自治会	20世帯	1,000	1,000
7 戸塚苑自治会	272世帯	20,000	40,400
8 中下自治会	166世帯	12,000	50,600
9 中田踊場自治会	640世帯	48,000	76,000
10 中西自治会	460世帯	34,000	34,000
11 中村町内会	1120世帯	84,000	120,800
12 夏刈場自治会	304世帯	22,000	50,750
13 根下自治会	263世帯	19,000	8,000
14 東池谷自治会	82世帯	6,000	6,000
15 ひがしが丘町内会	410世帯	30,000	99,400
16 東原自治会	536世帯	40,000	16,000
17 広町自治会	720世帯	54,000	205,500
18 双葉自治会	83世帯	6,000	6,000
19 南桜自治会	108世帯	8,000	7,000
20 南親交会	125世帯	9,000	9,000
21 南親和会	88世帯	6,000	13,000
22 南よつ葉町内会	176世帯	13,000	13,000
23 宮の台町内会	224世帯	16,000	30,400
24 向根下自治会	580世帯	43,000	43,000
25 山神前町内会	336世帯	25,000	59,000
26 山百合自治会	193世帯	14,000	15,000
27 若草自治会	204世帯	15,000	15,000
28 富士見丘自治会	801世帯	60,000	60,075
29 下村町内会	821世帯	61,000	50,000
連合加入合計	9,857世帯	729,000	1,133,325
30 高砂自治会	380世帯	28,000	33,100
合計	10,237世帯	757,000	1,166,425

地域福祉は地域が主体で

中田地区社会福祉協議会

会長 飯島 猛旦

この一年、中田地区社協は、地域福祉活動は地域主体のものとして位置づけ、地域全体に浸透させていく活動を念頭に取り組んできました。

最近国(政府)も、今後は「いかなる地域」を目指すかは、地域全体が決めるものとして地域主体を求めています。

また横浜市も市議会(昨年十一月)で、地域の問題は地域が市と協働で解決するとの立場をとっています。当然地域福祉も地域が主体となり、市は

パートナーとして位置づけています。これらを背景として私たち中田社協は、五大事業を推進してきました。「二十日会」「子育てサロン」、高齢者の「友遊会」、親子の農業体験塾などです。更には独自収益活動として賛助会費活動のほか「ほろずき市」の開催や文化祭の参加など。

また、東日本大震災をうけ街頭募金(四月十二日)をAコープ前で行い六万円近い募金を皆さまからいただきました。こころより感謝申し上げます。

◇地域交流事業

親子で野菜作り体験

中田社協と踊場ケアプラザの共同事業として行われています。八月から十二月までの五か月間にわたり、農家の協力を受け約三十人の親子が参加し写真、今年は大根、馬鈴薯、白菜など収穫もどっさり。十二月には同ケアプラザで「収穫祭」を行い、自分たちが



育てた野菜で料理して楽しいひとときを過ごしました。こうした体験を通して農家の方々の苦勞を知り、食べ物の大切さを学ぶなど夫々が貴重な体験を得たことと思います。

中田社協は地域福祉の大切さを皆さんに知ってもらうために、積極的に支援活動を行ってまいります。農家の方、ボランティアの皆さんに感謝いたします。

◇地域交流事業の充実へ
 中田社協がこれから初めて取り組む事業として

- 一、小中学校も協議会に組み入れる
 - 二、地域子育てネットとの連携
 - 三、高齢者、不登校児らの居場所作り
 - 四、問題解決の相談窓口の開設など
- 多様化した社会に対応するために、今後重要な検討課題と考えています。
- ◇ネーム入りウェア購入
 中田連合の中で数々の活動団体が制服ジャンパーや名前入りベストを着用して活動しているが、中田社協の目印としては「のぼり」だけでした。今年から全員が、新調したお揃い姿で目にかける日も近いのでは。

編集後記

◇平成二十二年度の賛助会費の集計が報告された。昨年実績(一、一三九、一〇三円)を超え、達成率が一五四%に。二〇〇%を超えた自治会が七、最高は中下自治会の四二二%、次いで広町自治会の三三八%だった。中田社協が各団体に援助する資金の三分の二は、この皆さんから寄せられる賛助会費が元になっている。貴重な財源がより有効適切に活用させていただきます。

◇「中田かわら版」が順調に発行されています。「中田の福祉と保健を考える会」から中田連合地区経営委員会(望月榮会長)に編集主体が変わったのは三十八号(平成二十二年七月)からでした。キメこまかく、さらに視野を広げた内容にしていきたい。(宮田)